



# 尚 学校だより

3月

令和5年2月24日  
横浜市立本宿小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>



## 非認知能力と学力

校長 松比良 聡夫

『認知能力』とは、IQや偏差値など、数値で測ることができる知的能力であるのに対し、『非認知能力』は、最後までやり遂げる力、目標を達成するために頑張る力、発想力、他人への思いやり等々、数値で測ることができない能力とされています。この非認知能力の育成が世界的にも注目されており、様々な社会課題の解決や、子どもの将来の人間形成などに大きく影響するのではないかとされています。確かに、モチベーションやリーダーシップ、クリエイティビティ等々、非認知能力は社会で生きていくために大切な力と言えます。

学校行事などの「体験的な学び」や「協働的な学び」は非認知能力の育成に大きく関わっており、授業と行事の両輪で非認知能力を育成することで、自己肯定感、さらには学力（認知能力）が高まるのではないかと、横浜市でも研究を始めています。

今まで日本の学校・学級で大切にしてきた部分が『非認知能力』という言葉で捉えなおされ、焦点を当てられていると言えます。

本校でも令和4年度は体験を通して学習する様々な行事や、本物から学ぶ出前授業などを多く行いました。4年生は愛川、5年生は三浦で宿泊体験学習を、6年生は日光修学旅行を実施できました。日帰りの校外学習も、1年生梶谷公園遠足、2年生ズーラシア遠足、3年生大和市郷土民家園見学、4年生バリエ鑑賞、5年生心のふれあいコンサート鑑賞、6年生鎌倉遠足、5組湘南台文化センター遠足等々、実施できました。コロナにより分散開催をしていたスポーツフェスティバル（運動会）も全校で一斉開催し、実行委員の子どもたちが縦割り競技を考えました。様々な出前授業（芸術鑑賞会、狂言教室、弁護士によるいじめ防止授業、資源循環局、子ども科学館、民間企業、NPO等々）も、高学年を中心に各学年で実施しました。梧桐ウイークでは、PTA皆様のご尽力のもと、クラブだけでなく各学年からも学習の発表をさせていただきました。

他にも水泳学習を再開、授業参観も6月（土曜参観）、11月オンライン参観、2月は対面で実施できました。水泳も授業参観もコロナ対策として2度に分けて行う必要があり、教員はコロナ前の倍の労力が必要でしたが、子どもたちや保護者の皆様の笑顔を見て達成感を感じていました。

先日の5年生コンサート鑑賞・カップヌードルミュージアム見学（2/15）や、5組の湘南台文化センター遠足（2/17）でも、本物の迫りに感動したり、公共の場で他者に配慮をして行動したり、目標を決めて頑張る姿などが見られて、どの子も一回り成長したように感じました。

保護者、地域の皆様には、一年間温かいご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。4月からも職員一同教育活動をますます充実させていく所存です。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

